



2023年度 活動トピックス

「こころ彩るところ」 フジフィルム スクエア 2024

—— 若手写真家の創造力を引き出し、 ——
写真の新たな可能性と幅広い世代の共感呼び起こした1年

2023年度 活動トピックス

写真展の開催本数76本、ご来館者数約35万人

写真文化の発展に創業以来貢献してきた富士フィルムは、写真が持つ価値を伝える活動の一環として2007年にフジフィルム スクエアを開館しました。みずみずしい感性を持つ若手写真家、独自のスタイルを確立し活躍中の写真家、写真史に名を刻む巨匠など、国内外の幅広い層の写真家の皆さまの作品を発表・公開しています。2023年度までに800万人以上の方にご来館いただくなど、多くの方に直接作品をご鑑賞いただくリアルなスペースとなっています。2023年度は1年で76本の写真展を開催し、約35万人の皆さまにご来館いただきました。

若手写真家の創造性を引き出す写真展を開催

フジフィルム スクエアでは、開館以来2023年度までに延べ1,700本以上の写真展を開催。厳しくも美しい自然の姿を伝える風景写真、被写体のドラマを語るポートレート写真、社会や文化を写し出すスナップ写真、歴史的な瞬間を後世に伝えるドキュメンタリー写真など、幅広いジャンルにわたり、多彩な作品を展示し、来館の皆さまから新鮮な驚きや感動の声を頂戴するなど、写真の力を広くお伝えしております。

そうした活動の中で、2023年度は、特に、写真の新しい視点や表現をさらに豊かに発信する活動の一つとして、若い感性に注目し、若手写真家応援プロジェクトの「写真家たちの新しい物語」*1と「ポートフォリオレビュー*2/アワード」に注力いたしました。

「写真家たちの新しい物語」ではプリント製作費などを支援して2本の写真展を開催。「ポートフォリオレビュー/アワード」では45歳以下の写真家・写真家を志す方から作品を募集し、レビュワー*3による事前審査、レビュー、ファイナリストレビューを経て決定したアワード受賞者4名による写真展を開催しました。若手写真家に写真展示の専門的な知識や作品の発表の場を提供することで、彼らの創造性を引き出すことが、写真表現の新たな可能性や幅広い世代の共感呼び起こす写真の力の発信につながっています。

この『2023年度 活動トピックス』では、フジフィルム スクエアで2023年度に実施した活動をダイジェストでご紹介いたします。フジフィルム スクエアの「こころ彩る」活動をご理解いただく機会となれば幸いです。

*1.若手写真家が写真展を開催するための制作費などを支援する「写真家たちの新しい物語」を若手写真家応援プロジェクトとして2013年に立ち上げ、2023年度までに合計38回開催しています。
*2.作品講評会 *3.講評する講師

フジフィルム スクエア施設コンセプト



知らなかった世界を写真展で知ることができてワクワクした

写真から伝わるメッセージに涙が止まらなかった

写真が時代を超えて語りかけてきて感激した

お客さまからいただいた「こころ彩った」声

写真の躍動感に圧倒された

子どもも目を輝かせて写真を見ていた

大サイズのプリントの迫力に感動した

この写真展は忘れられない体験になると思う

・本データは2023年度の自社調査に基づくものです。
 ・2023年度とは2023年4月1日から2024年3月31日を指します。年末年始を除いた360日が2023年度の写真展開催期間です。

来館者数

※年末年始を除く稼働日数360日の来館者

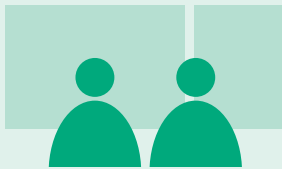
354,136人

1日平均

984人

写真展の開催回数

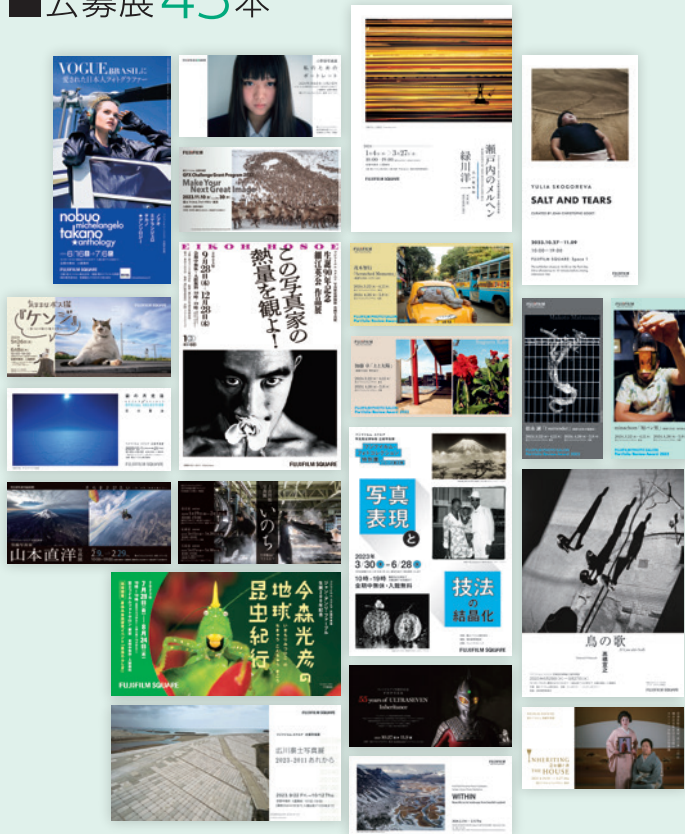
76本



■当社が主催・協力する企画展 33本

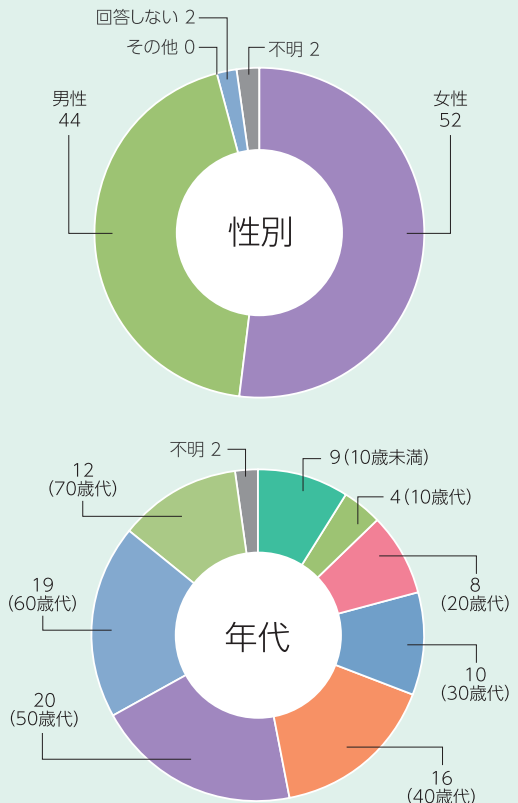
若手写真家応援プロジェクト3本、
 写真歴史博物館の企画写真展4本、
 当社が協力する写真展1本を含む、合計33本を開催。

■公募展 43本



〈企画展のDM・パンフレット例〉

来館者属性



※自社アンケート調査による。(回答者9,342人、グラフの単位は%)

ギャラリートーク・トークイベントなど、鑑賞サポート活動の参加人数

5,369人

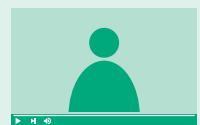
193回



Web公開動画

フジフィルム スクエア Webサイトで公開した動画本数。

21本



総再生回数

47,845回

※2024年7月9日現在。
 広告による再生は含まない。

45歳以下の写真家から作品を募集、写真展を開催する「若手写真家応援プロジェクト」

特徴ある2つの企画で、若手写真家へのサポートを継続

プロジェクト① 「写真家たちの新しい物語」

フジフィルム スクエアのプロ集団^{※1}が写真家の個性を大切に、企画からトークイベント開催まで全面的にバックアップ

※1:写真展に精通した富士フィルム担当者、プリントアーティスト、写真展企画者、デザイナーがチームでサポートしています。

主なバックアップ内容

銀写真プリントの
製作費

展示コンセプト・
レイアウト

写真展の
各種告知

プリントアーティストの
アドバイス

トークイベント
企画・開催

春から秋に作品を募集、審査を通過した新鋭写真家の写真展開催を支援。2013年から毎年実施、2023年度までに38名の写真展が実現しました。

◎2023年度の活動紹介



上吉川祐一写真展「いのち」

食肉加工で産出される皮を用いて制作される牛革製品。あまり公開されてこなかった加工工程や職人の真剣な表情を丹念に捉えた写真を通じて、「いのち」の大切さに迫りました。



小野啓 写真展「私のためのポートレート」ー 全国の高校生のポートレートシリーズー

高校生たちの肖像をフィルムカメラで20年以上撮り続けている小野啓氏が、コロナ禍の自粛期間を経て2022年に撮影した、時代の記録ともいえる作品を展示しました。

◎過去に開催した出展者の「ステップアップの声」

今回の写真展を機に出版した写真集で、写真界の賞をいただくことができました。

写真展の開催で初めて新聞社の取材を受け、その後もメディアへの出演につながりました。

会場で出版社の方からお話をいただき、写真集や写真絵本を出版することが決まりました。

《出展したお二人に聞きました》

サポートから得られたもの

写真をどう見せれば心に響くものになるのか。多くの学びがあり、視点が広がりました。この経験は一生の宝物です。 上吉川祐一氏

出展作品が複数書籍のカバーに採用されることになり、自分の作品が新たな広がりを持つ大事なきっかけとなりました。 小野啓氏

来館者との交流、 ギャラリートークの意義

来館者との対話は創作における発見の連続。幅広い層の方が私の話を真剣に聞いてくださり中には涙される方もいらっしゃいました。反響に驚くと同時に、多くを学びました。 上吉川祐一氏

写真家が作品のことをダイレクトに伝えるギャラリートークの重要性と面白さを実感しました。新鮮な経験でした。 小野啓氏

プロジェクト② 「ポートフォリオレビュー/アワード」

若手写真家にプロ写真家による講評を受ける機会を、アワード受賞の4名の若手写真家にプロ写真家と徹底対話し写真展を開催するチャンスを提供。

◎ポートフォリオレビュー/アワードの流れ(第2回 2023年度)

作品募集/一次選考

45歳以下の写真家・写真家を志す方から作品を募集し、レビュー(講評)に参加いただく48名を選出。

ポートフォリオレビュー/二次選考

一次選考を通過した48名にレビューを実施

プロの写真家2名がレビュー(講評する講師)となり、参加者1名につき約10分をかけて、オンラインで作品を講評。撮影やテーマ設定、作品の選び方などについてアドバイスするレビューを経てファイナリスト12名を選出しました。

ファイナリストレビュー/最終選考

二次選考を通過した12名にレビューを実施

12名のファイナリストと4名のレビュー(講評する講師)が対面し、前回のレビューを基にブラッシュアップされた作品に対し、1名につき約10分をかけて講評。写真展を意識したアドバイスの後、選考を行い、アワード受賞者4名を決定しました。

受賞者4名に写真展開催に向けたサポートを提供

各受賞者を、推薦写真家が全面的に支援。数カ月かけて対話を重ね、写真展のコンセプトから作品の構成、編集、展示のレイアウトや解説文・展示物の制作、銀写真プリントの色、告知物まで、多岐にわたるアドバイスが提供されました。受賞者は幅広い分野での学びや発見、インスピレーションを得て作品を磨き、大きく成長していきました。

写真展開催

～2023年度のレビューを務めた中藤毅彦氏より～

本企画の特色の一つに、推薦を行った写真家のサポートによる、受賞から写真展開催までのプロセスの重視がある。応募作品だけでなく、展示プランや作品内容を練り上げる中で成長していく姿までも見据え、写真作家としての潜在力をどこまで伸ばせるのかも審査の重要なポイントであった。受賞から展示までの期間で、ある者は再び海外へ撮影に向かい、ある者は一から暗室作業を学んだことで、さらに作品の完成度を増していった。われわれ審査員にとっても選考は終着点ではなく、むしろスタートラインとして、共同作業の中で新たに彼らとの関係を築いていった。そうしたプロセスにもぜひご注目いただきたい。



オンラインによるレビュー



ファイナリストレビュー



作品制作(受賞者(左)、推薦写真家(右))



作品展示(受賞者(右)、推薦写真家(右から2番目))

～未来を担う写真家の創作と新たな写真文化の創造を支援するために～

若手写真家に写真展開催とお客さま・プロ写真家・写真展に精通したスタッフとの熱い対話の機会を提供。

「こころ彩るところ」

フジフィルム スクエアは、
写真文化を未来へと
絶えず、守り育み続けます。

富士フィルムグループは2024年1月20日に迎えた創立90周年を機に、グループ
パーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」を制定しました。

富士フィルムは祖業である「イメージング事業」で感動の瞬間や大切な思い出を
形に残し、お客さまに笑顔を届けてきました。そしてこれからも新たな価値ある製品・
サービスを創出し続けることで、人々に新たな感動や体験を届けてまいります。

フジフィルム スクエアでは、写真展示というリアルなコミュニケーションの場とし
て、作品の新鮮な視点や独自の表現を通じて人々の感性に働きかけ、写真文化への
関心や理解を深め、心の豊かさ、人々のつながりを醸成するとともに、「地球上の笑顔
の回数を増やしていく。」ことに貢献していきます。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティーの高いさまざまなジャンルの
写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを
表現した作品を厳選し、一週間単位で写真展を開催しております。公募については
Webサイトをご覧ください。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値
のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史
的進化をご覧いただける博物館です。190年を超える写真文化の変遷をぜひお楽し
みください。



タッチフジフィルム&イメージングサービスカウンター

「チェキ™」をはじめとする大人気instax™シリーズや富士フィルムのミラーレスデジ
タルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品のお試しや、購入がで
きます。また、修理受付や購入前のトライアルサービス*も提供いたします。そして、
スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントや、写真を使ったオリジナル
ギフト「PHOTO GOODS」などを展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。

*デジタルカメラや双眼鏡など



ASTALIFT 六本木 フジフィルム ヘルスケアショップ

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を応用した
富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。
化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受
けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM **90**
Value from Innovation そして
その先の
未来へ **100**

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00~19:00 (入館は18:50まで)

無休(年末年始を除く) / 入館無料

*やむを得ず臨時休館する場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。



〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
TEL.03-6271-3350(10:00~18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン、写真歴史博物館、フジフィルム・フォトコレクション、若手写真家応援プロジェクトは、
2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。

